

第7 重点施策の分析

ここでは、「第5 重要度・満足度調査結果」及び「第6 税金の使い方調査結果」のいずれにおいても岸和田市全体の「重点施策候補」となった5つの施策（下表網掛けの施策）について、地域別をはじめとした属性の分析及び施策指標の分析を行い、特に働きかけを行うべき属性についての傾向を明らかにしました。

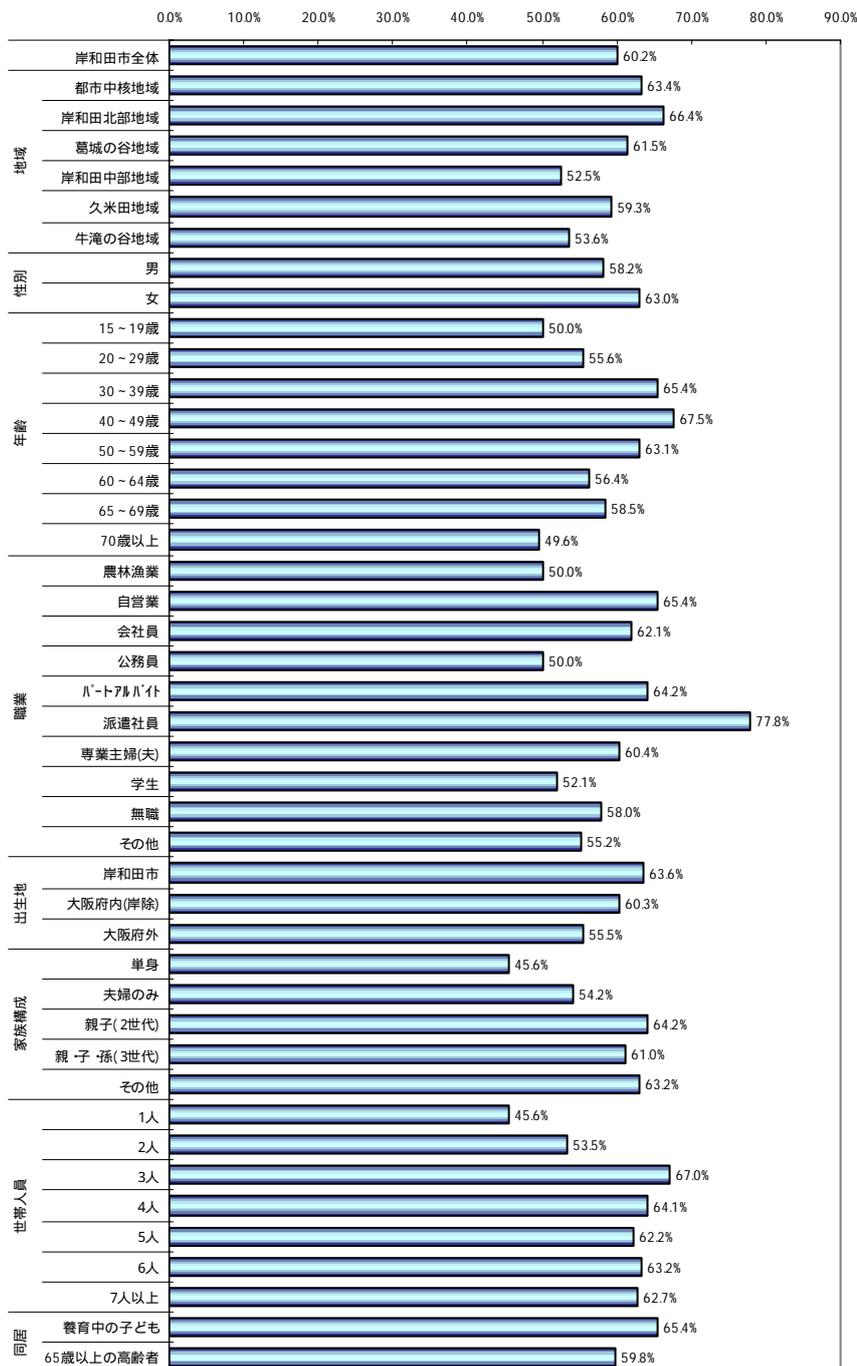
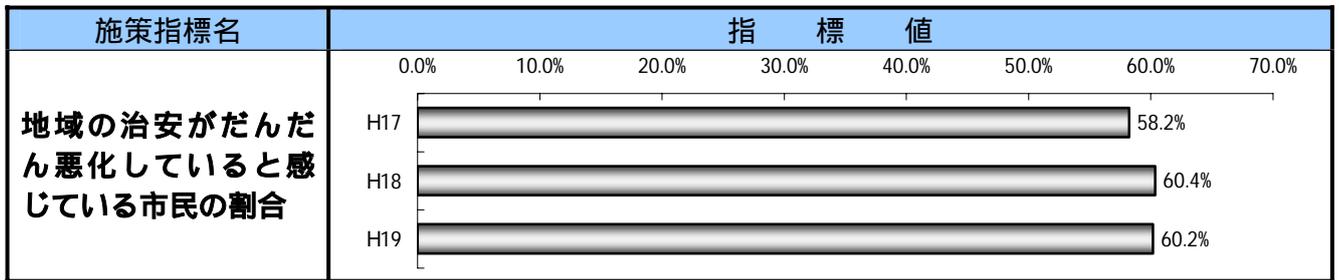
施策体系			
目標	政策	施策	重点施策
地域の再生	安心して日常生活を送れるまちづくり	安心して消費できるまちをつくる【消費者保護対策】	
		犯罪のないまちをつくる【防犯対策】	
		安心して移動できるまちをつくる【交通安全対策】	
	上手に年がとれるまちづくり	安心して医療が受けられるまちをつくる【医療体制の充実】	
		健康に過ごせるまちをつくる【健康づくりへの支援】	
	みんながともに支えあうまちづくり	安心して高齢期を送ることができるまちをつくる【高齢者への支援】	
		だれもが必要な支援を受けることができるまちをつくる【障害者への支援】	
		ともに支えあう福祉の仕組みがあるまちをつくる【福祉の仕組みづくり】	
	みんなが活躍する場があるまちづくり	いつでも学べる機会のあるまちをつくる【多様な学習機会の提供】	
		気軽にスポーツ活動ができるまちをつくる【ホ・ツを楽しむ環境の整備】	
	豊かな心を育むまちづくり	様々な文化を育み、守り伝えるまちをつくる【文化・芸術の振興】	
		人権が守られているまちをつくる【人権の尊重】	
		平和の尊さを実感できるまちをつくる【平和意識の高揚】	
	市民が主役のまちづくり	参加と協働がしやすいまちをつくる【協働の推進】	
		参加と協働がしやすいまちをつくる【市民参加の促進】	
		地域の個性が活かされたまちをつくる【コミュニティ支援】	
	子どもを育むまちづくり	安心して子どもを生育てられるまちをつくる【子育て支援】	
		子どもが健全に育つまちをつくる【子どもの健全育成】	
子どもの個性、能力にあった教育環境が整っているまちをつくる【子どもの教育環境の充実】			
都市の再生	緊急時の対策がとられているまちづくり	災害に強いまちをつくる【災害対策】	
		緊急時に迅速で的確な対応ができるまちをつくる【救急医療の充実】	
		緊急時に迅速で的確な対応ができるまちをつくる【消防機能の充実】	
	にぎわいのあるまちづくり	観光資源を活用して、にぎわいのあるまちをつくる【観光の振興】	
		市街地ににぎわいのあるまちをつくる【市街地の活性化】	
		国内外の人たちとふれあえるまちをつくる【国内・国際交流】	
快適な生活環境を守るまちづくり	住環境が快適なまちをつくる【住宅環境の整備】		
	交通渋滞がないまちをつくる【道路・交通網の整備】		
自然の再生	心やすらぐ自然環境を守るまちづくり	地球と人にやさしいまちをつくる【ごみの減量化とサイクルの促進】	
		環境汚染を防止できるまちをつくる【環境汚染防止対策】	
		身近にやすらげる空間があるまちをつくる【安らぎ空間の創出】	
産業の再生	経済活動が活発なまちづくり	新しい産業や特産品を生み出すまちをつくる【新産業創出支援】	
		元気に働けるまちをつくる【良好な労働環境の整備】	
		商工業が活気のあるまちをつくる【商工業の振興】	
		農林漁業が魅力のあるまちをつくる【農林漁業の振興】	

H19			参 考				H17
重要度 × 満足度	コスト × 重要度	コスト × 満足度	重点施策	重要度 × 満足度	コスト × 重要度	コスト × 満足度	重要度高 × 満足度低
重点維持	重点化	ニ-ズ 確認		重点維持	重点化	ニ-ズ 確認	重点維持
重点化	重点化	重点化		重点化	重点化	重点化	重点化
ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認	重点化		ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認	重点化	ニ-ズ 確認
重点維持	重点化	ニ-ズ 確認		重点維持	重点化	ニ-ズ 確認	重点維持
現状維持	効率化	効率化		現状維持	効率化	効率化	現状維持
重点化	重点化	重点化		重点化	対応検討	対応検討	重点化
重点化	重点化	重点化		重点化	重点化	重点化	重点化
ニ-ズ 確認	効率化	対応検討		ニ-ズ 確認	効率化	対応検討	
ニ-ズ 確認	効率化	対応検討		ニ-ズ 確認	効率化	対応検討	現状維持
ニ-ズ 確認	効率化	対応検討		ニ-ズ 確認	効率化	対応検討	現状維持
現状維持	効率化	効率化		現状維持	効率化	効率化	現状維持
現状維持	効率化	効率化		現状維持	効率化	効率化	現状維持
現状維持	効率化	効率化		現状維持	効率化	効率化	現状維持
ニ-ズ 確認	効率化	対応検討		ニ-ズ 確認	効率化	対応検討	ニ-ズ 確認
現状維持	効率化	効率化		現状維持	効率化	効率化	
現状維持	効率化	効率化		現状維持	効率化	効率化	現状維持
重点化	重点化	重点化		重点化	重点化	重点化	重点化
重点化	重点化	重点化		重点化	重点化	重点化	重点化
ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認	重点化		ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認	重点化	重点化
重点維持	重点化	ニ-ズ 確認		重点維持	重点化	重点化	重点化
重点維持	重点化	ニ-ズ 確認		重点維持	重点化	ニ-ズ 確認	重点維持
現状維持	ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認		現状維持	ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認	現状維持
現状維持	効率化	効率化		現状維持	効率化	効率化	現状維持
ニ-ズ 確認	効率化	対応検討		ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認	重点化	ニ-ズ 確認
ニ-ズ 確認	効率化	対応検討		ニ-ズ 確認	効率化	対応検討	現状維持
重点化	対応検討	対応検討		重点化	対応検討	対応検討	重点化
ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認	重点化		ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認	重点化	ニ-ズ 確認
現状維持	ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認		現状維持	効率化	効率化	現状維持
ニ-ズ 確認	効率化	対応検討		現状維持	ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認	重点化
現状維持	ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認		現状維持	ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認	
ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認	重点化		ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認	重点化	ニ-ズ 確認
ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認	重点化		ニ-ズ 確認	ニ-ズ 確認	重点化	ニ-ズ 確認
ニ-ズ 確認	効率化	対応検討		ニ-ズ 確認	効率化	対応検討	ニ-ズ 確認
ニ-ズ 確認	効率化	対応検討		ニ-ズ 確認	効率化	対応検討	ニ-ズ 確認

凡 例		
岸和田市全体		全
地 域	都市中核地域	核
	岸和田北部地域	北
	葛城の谷地域	葛
	岸和田中部地域	中
	久米田地域	久
	牛滝の谷地域	牛
性 別	男性	男
	女性	女
年 齢	15～19 歳	10
	20～29 歳	20
	30～39 歳	30
	40～49 歳	40
	50～59 歳	50
	60～64 歳	60
	65～69 歳	65
	70 歳以上	70
職 業	農林漁業	農
	自営業	自
	会社員	会
	公務員	公
	パートアルバイト	パ
	派遣社員	派
	専業主婦(夫)	専
	学生	学
	無職	無
	その他	他
出 生 地	岸和田市	岸
	大阪府内(除岸和田)	府
	大阪府外	外
家 族 構 成	単身	単
	夫婦のみ(子どもなし)	夫
	親子(2世代)	親
	親・子・孫(3世代)	孫
	その他	他
世 帯 人 員	2人	2
	3人	3
	4人	4
	5人	5
	6人	6
	7人以上	7
	同 居	養育中の子どもがいる人
65 歳以上の高齢者がいる人		×高

1 【重点施策1】犯罪のないまちをつくる

(1) 施策指標



地域別

「岸和田北部地域」(66.4%)が最も高い一方、「岸和田中部地域」(52.5%)で最も低くなっています。

性別

「女性」(63.0%)が「男性」(58.2%)を4.8ポイント上回っています。

年齢別

「40～49歳」(67.5%)で最も高く、以下「30～39歳」(65.4%)、「50～59歳」(63.1%)と続いており、中年層で岸和田市全体を上回っている一方、若年層及び高齢者では低い傾向にあります。

職業別

「派遣社員」(77.8%)が特に高くなっている一方、「農林漁業」(50.0%)、「公務員」(50.0%)、「学生」(52.1%)などで低くなっています。

出生地別

「岸和田市」(63.6%)、「大阪府内(岸和田市を除く)」(60.3%)、「大阪府外」(55.5%)の順となっています。

家族構成と世帯人員別

家族構成別にみると、「親子(2世代)」(64.2%)が最も高く、「単身」(45.6%)が最も低くなっており、多世代世帯ほど高い傾向にあります。

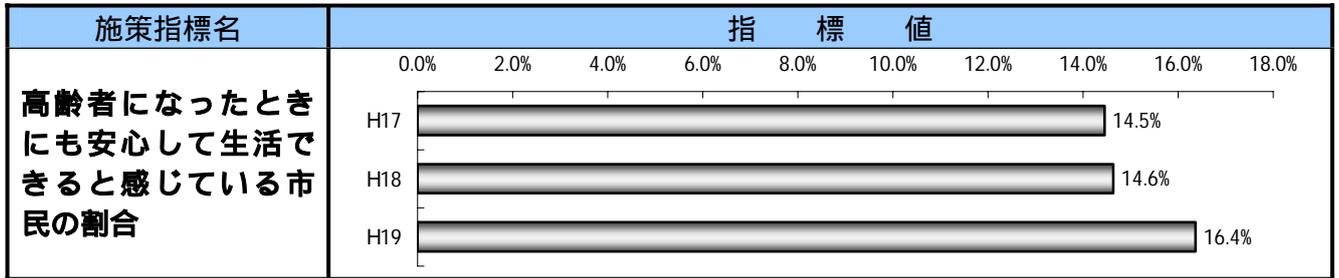
また、世帯人員別でも、3人以上の世帯で岸和田市全体を上回っており、大家族ほど高い傾向にあります。

同居別

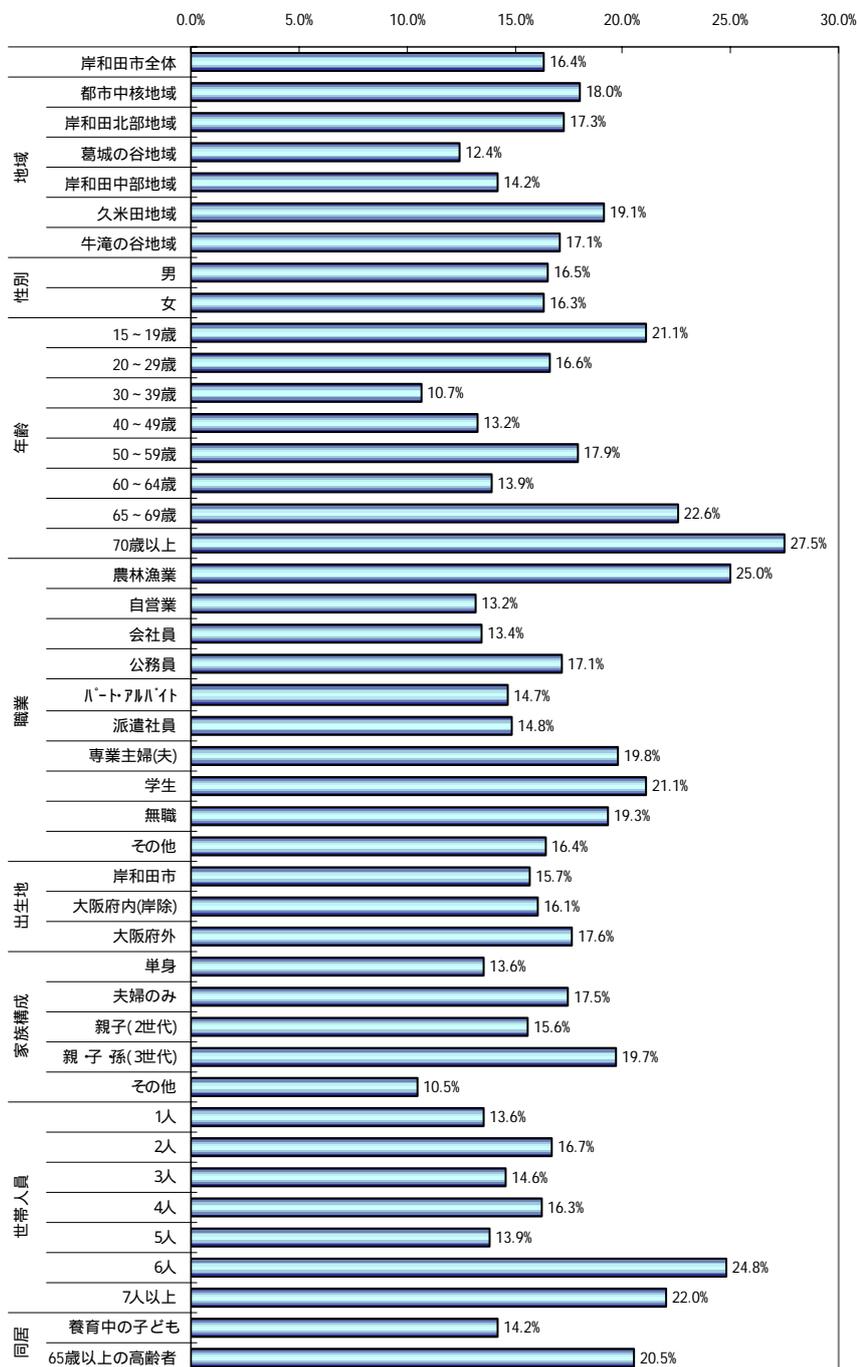
「養育中の子どもがいる」(65.4%)が「65歳以上の高齢者がいる」(59.8%)を5.6ポイント上回っています。

2 【重点施策2】安心して高齢期を送ることができるまちをつくる

(1) 施策指標



平成 17 年度は、「高齢者や障害者になったときにも安心して生活できる」として調査



地域別

「久米田地域」(19.1%)が最も高い一方、「葛城の谷地域」(12.4%)で最も低くなっています。

性別

「女性」(16.3%)・「男性」(16.5%)ともほとんど差がありません。

年齢別

「70歳以上」(37.5%)で最も高く、以下「65～69歳」(22.6%)、「15～19歳」(21.1%)と続いており、中年層で低く、若年層及び高齢者で高い傾向にあります。

職業別

「農林漁業」(25.0%)が特に高くなっている一方、「自営業」(13.2%)、「会社員」(13.4%)、「パートアルバイト」(14.7%)、「派遣社員」(14.8%)などで低くなっています。

出生地別

「大阪府外」(17.6%)、「大阪府内(岸和田市を除く)」(16.1%)、「岸和田市」(15.7%)の順となっています。

家族構成と世帯人員別

家族構成別にみると、「親・子・孫(3世代)」(19.7%)が最も高く、「その他」(10.5%)が最も低くなっています。

また、世帯人員別では、「6人」(24.8%)、「7人以上」(22.0%)などで高い一方、「1人」(13.6%)、「5人」(13.9%)などで低くなっています。

同居別

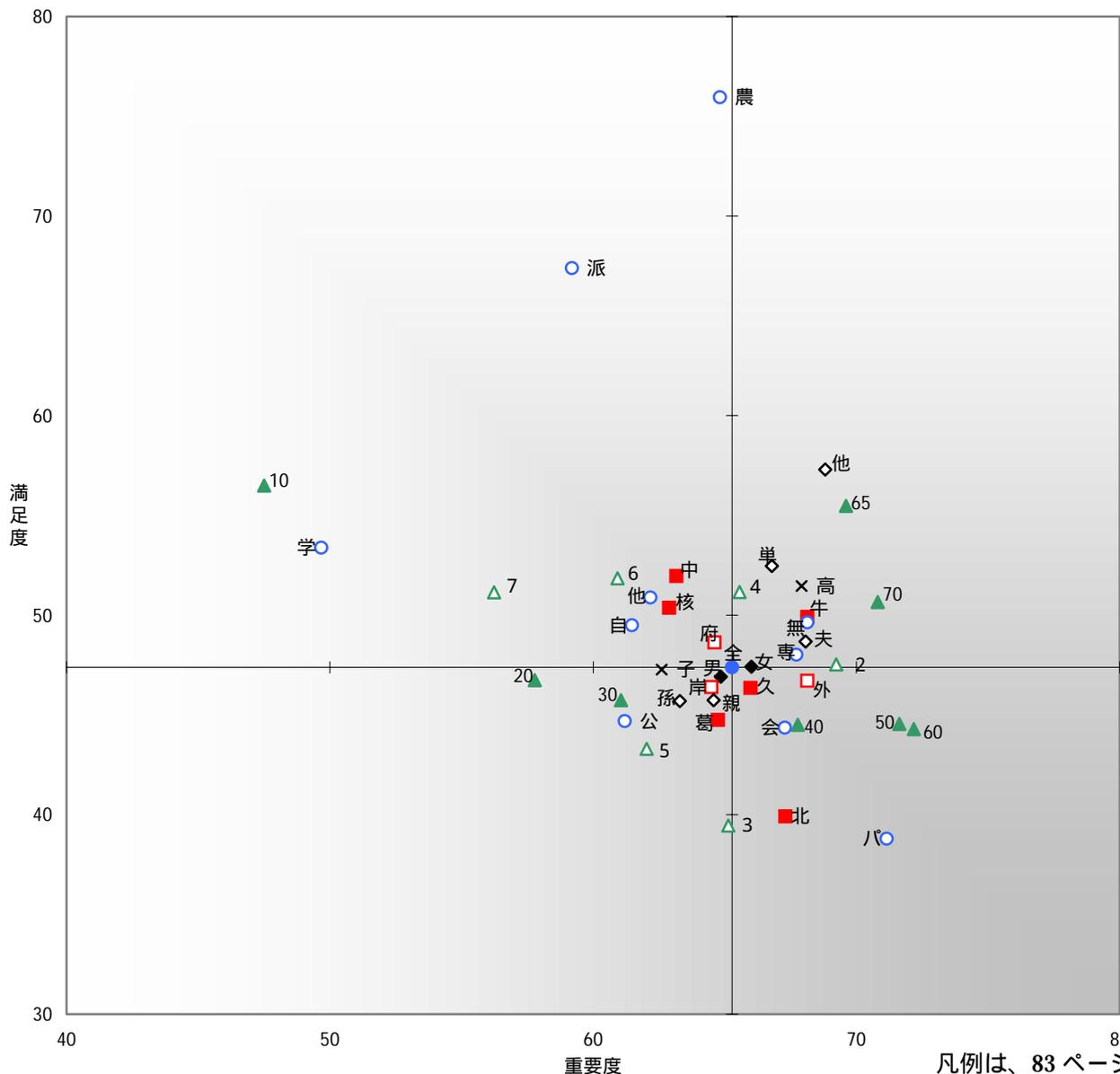
「65歳以上の高齢者がいる」(20.5%)が岸和田市全体を上回っている一方、「養育中の子どもがいる」(14.2%)は岸和田市全体を下回っています。

(2) 重要度・満足度の属性分析

岸和田市全体の結果を交点としたグラフに各属性をプロットした形式で示して、各属性の分布した領域から特に働きかけを行う必要がある属性の傾向を読み取ることとします。

『重要度』が岸和田市全体よりも高く、『満足度』が岸和田市全体よりも低い領域（下図の右下部分の領域）つまり、岸和田市全体よりも「重要だと思っているが、満足していない」傾向にある以下の属性については、特に強い働きかけを行う必要がある対象となります。

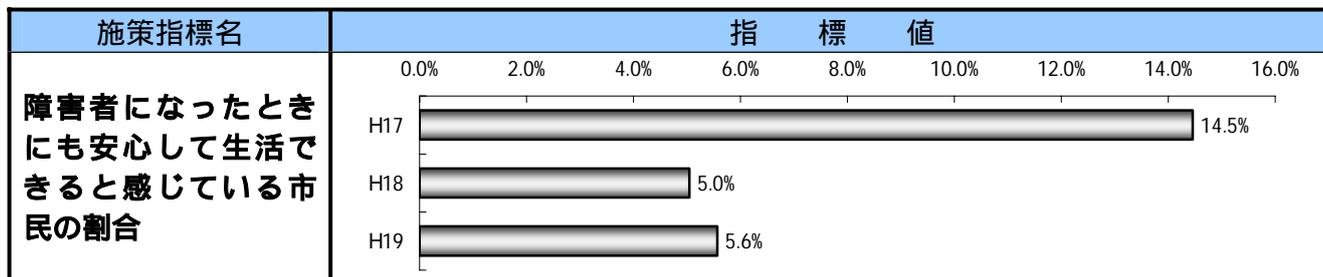
- 地域別.....岸和田北部地域、久米田地域
- 性別.....(なし)
- 年齢別.....40～49歳、50～59歳、60～64歳
- 職業別.....会社員、パート・アルバイト
- 出生地別.....大阪府外
- 家族構成別.....(なし)
- 世帯人員別.....(なし)
- 同居別.....(なし)



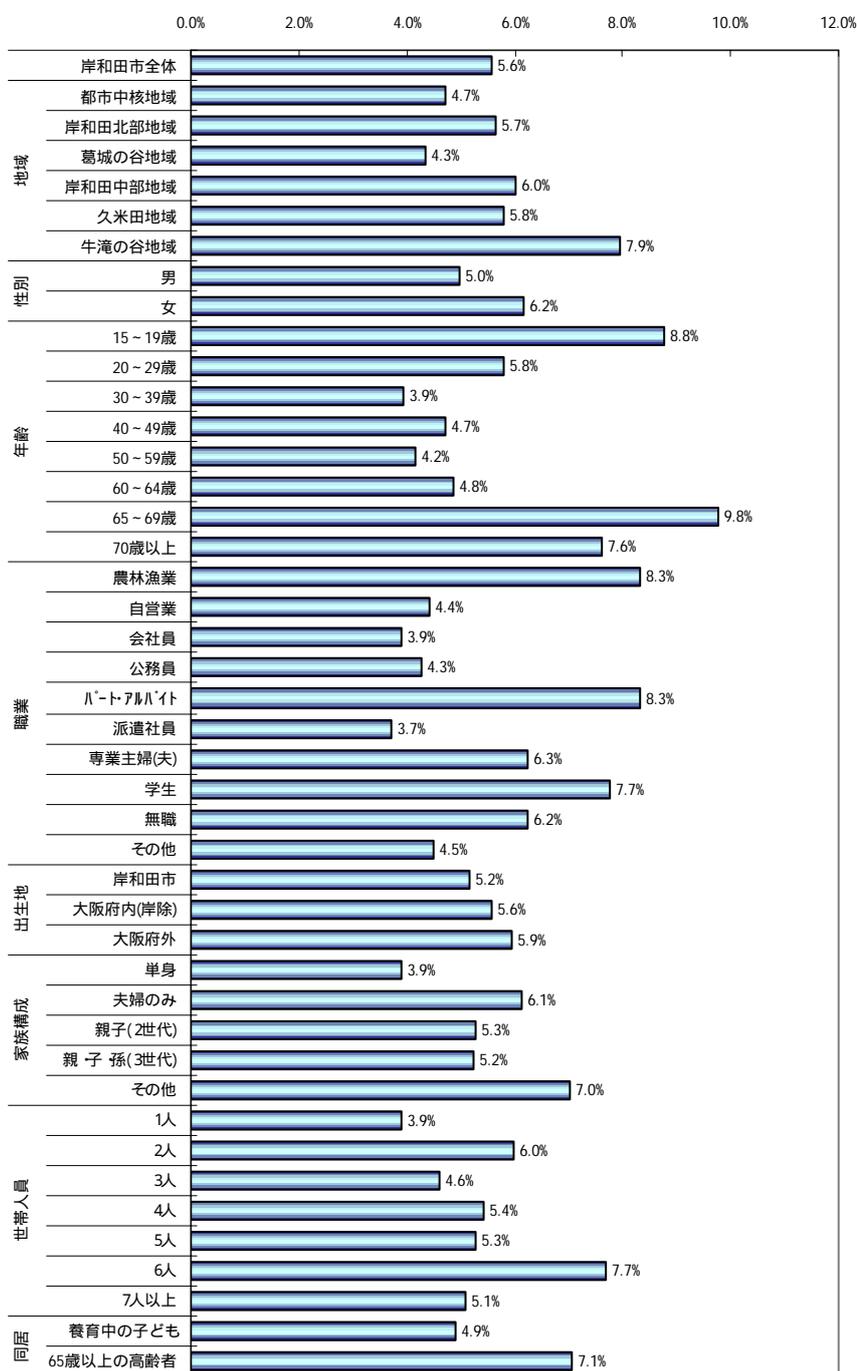
凡例は、83 ページ参照

3 【重点施策3】だれもが必要な支援を受けることができるまちをつくる

(1) 施策指標



平成17年度は、「高齢者や障害者になったときにも安心して生活できる」として調査



地域別

「牛滝の谷地域」(7.9%)が最も高い一方、「葛城の谷地域」(4.3%)で最も低くなっています。

性別

「女性」(6.2%)が「男性」(5.0%)を1.2ポイント上回っています。

年齢別

「65～69歳」(9.8%)で最も高く、以下「15～19歳」(8.8%)、「70歳以上」(7.6%)と続いており、中年層で低く、若年層及び高齢者では高い傾向にあります。

職業別

「農林漁業」(8.3%)、「パートアルバイト」(8.3%)などで高くなっている一方、「派遣社員」(3.7%)、「会社員」(3.9%)などで低くなっています。

出生地別

「大阪府外」(5.9%)、「大阪府内(岸和田市を除く)」(5.6%)、「岸和田市」(5.2%)の順となっています。

家族構成と世帯人員別

家族構成別にみると、「その他」(7.0%)が最も高く、「単身」(3.9%)が最も低くなっています。

また、世帯人員別では、「6人」(7.7%)が最も高く、「1人」(3.9%)が最も低くなっています。

同居別

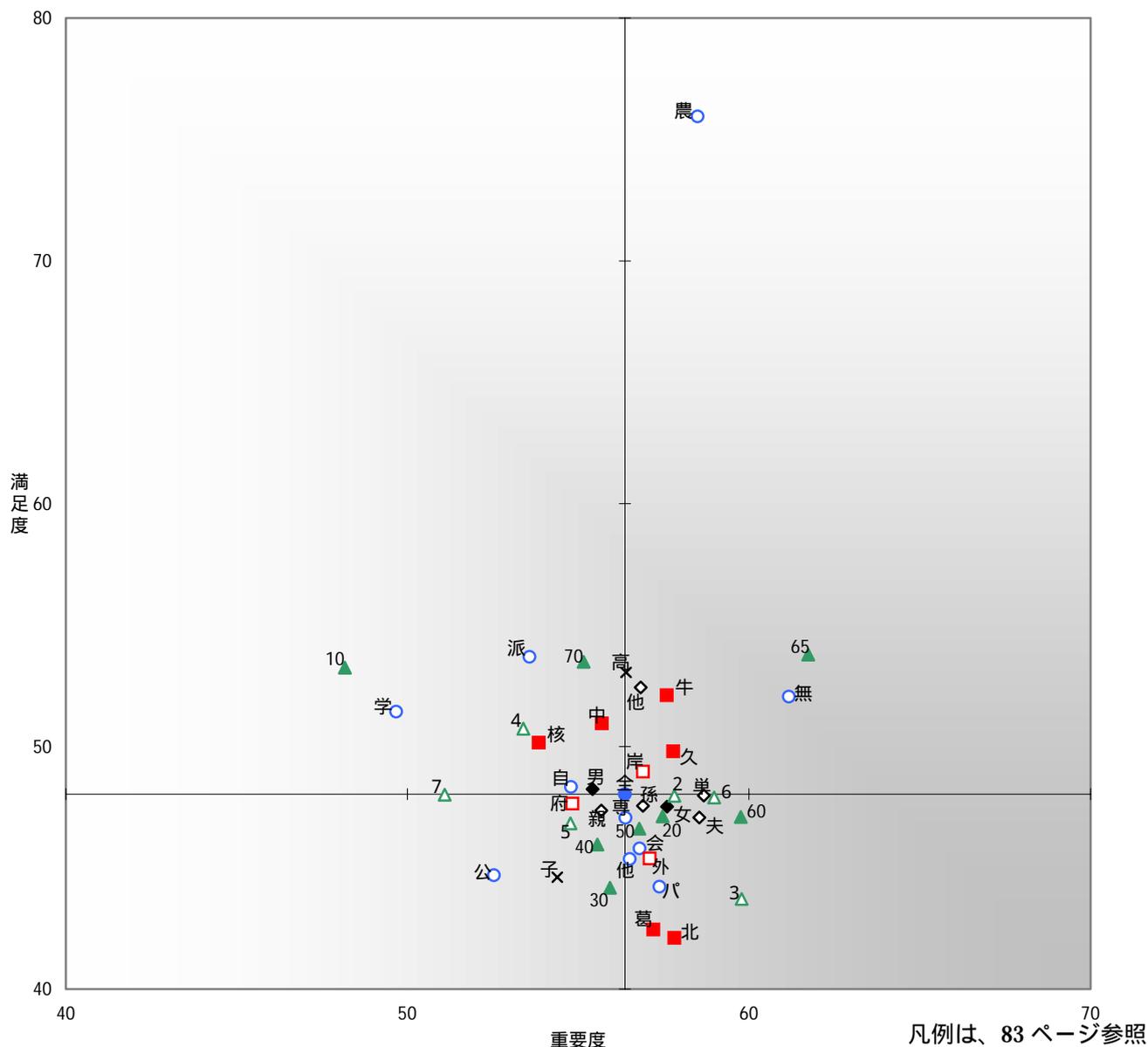
「養育中の子どもがいる」(4.9%)が岸和田市全体を下回っている一方、「65歳以上の高齢者がいる」(7.1%)は岸和田市全体を上回っています。

(2) 重要度・満足度の属性分析

岸和田市全体の結果を交点としたグラフに各属性をプロットした形式で示して、各属性の分布した領域から特に働きかけを行う必要がある属性の傾向を読み取ることとします。

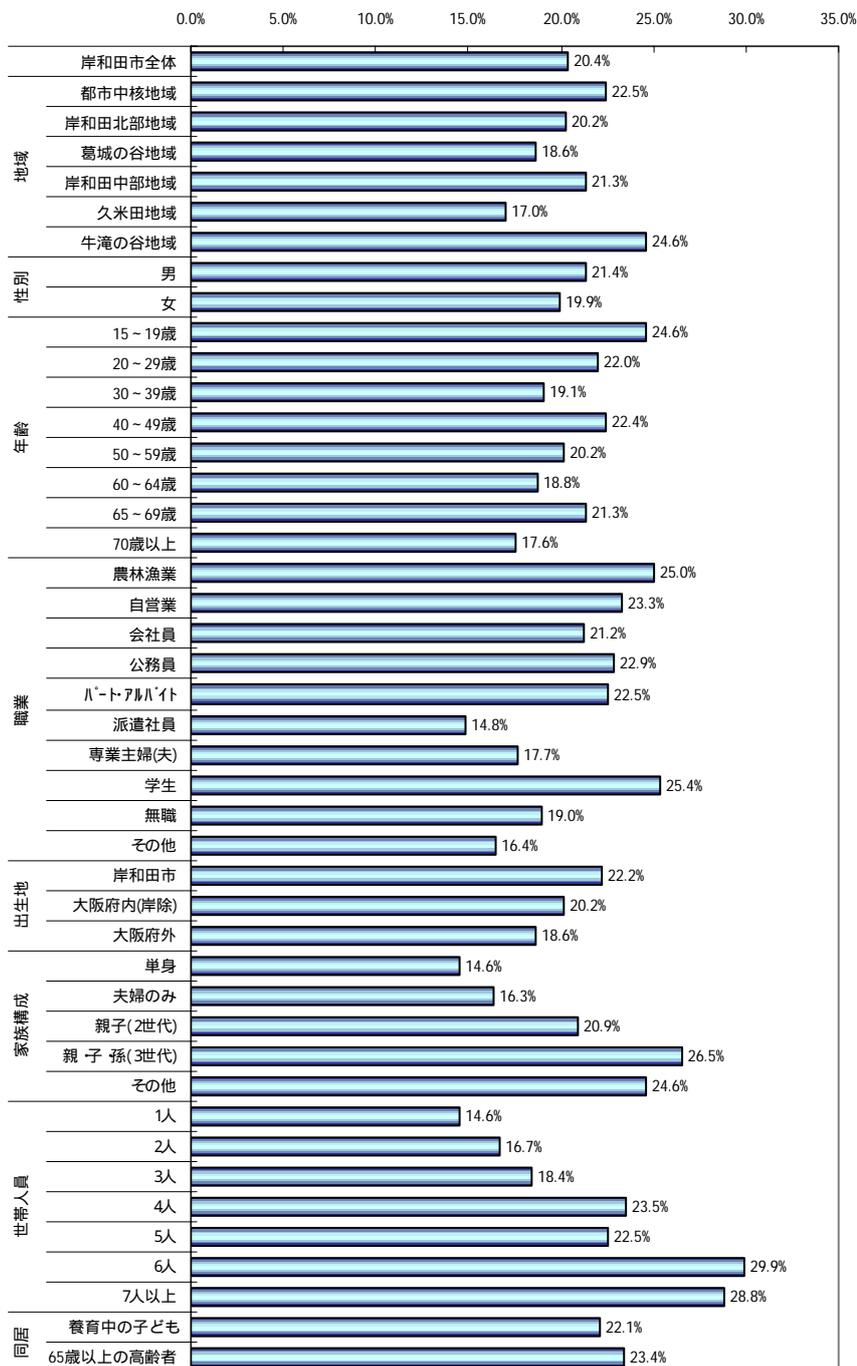
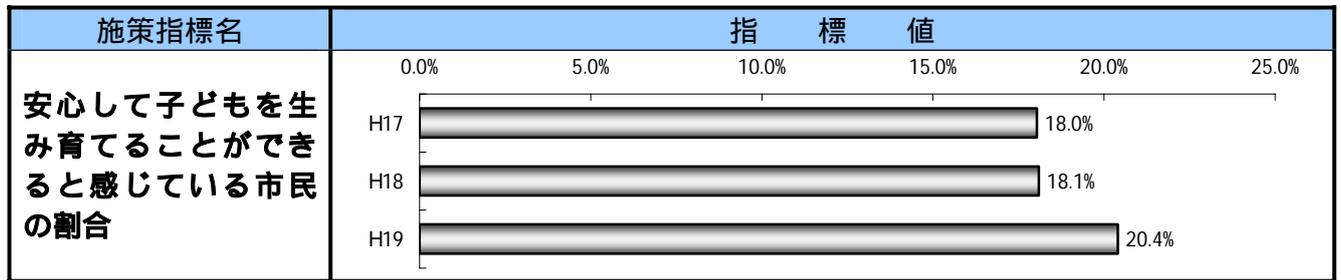
『重要度』が岸和田市全体よりも高く、『満足度』が岸和田市全体よりも低い領域（下図の右下部分の領域）つまり、岸和田市全体よりも「重要だと思っているが、満足していない」傾向にある以下の属性については、特に強い働きかけを行う必要がある対象となります。

- 地域別.....岸和田北部地域、葛城の谷地域
- 性別.....女性
- 年齢別.....20～29歳、50～59歳、60～64歳
- 職業別.....会社員、パート・アルバイト、専業主婦(夫)、その他
- 出生地別.....大阪府外
- 家族構成別.....単身、夫婦のみ(子どもなし)、親・子・孫(3世代)
- 世帯人員別.....1人、2人、3人、6人
- 同居別.....(なし)



4 【重点施策4】安心して子どもを産み育てられるまちをつくる

(1) 施策指標



地域別

「都市中核地域」(22.5%)が最も高い一方、「久米田地域」(17.0%)で最も低くなっています。

性別

「男性」(21.4%)が「女性」(19.9%)を1.5ポイント上回っています。

年齢別

「15～19歳」(24.6%)で最も高く、以下「40～49歳」(22.4%)、「20～29歳」(22.0%)、「65～69歳」(21.3%)、「50～59歳」(20.2%)、「30～39歳」(19.1%)などとなっています。

職業別

「学生」(25.4%)、「農林漁業」(25.0%)などで高い一方、「派遣社員」(14.8%)、「その他」(16.4%)、「専業主婦(夫)」(17.7%)などで低くなっています。

出生地別

「岸和田市」(22.2%)、「大阪府内(岸和田市を除く)」(20.2%)、「大阪府外」(18.6%)の順となっています。

家族構成と世帯人員別

家族構成別にみると、「親・子・孫(3世代)」(26.5%)が最も高く、「単身」(14.6%)が最も低くなっており、多世代世帯ほど高い傾向にあります。

また、世帯人員別でも、「6人」(29.9%)、「7人以上」(28.8%)などで高く、大家族ほど高い傾向にあります。

同居別

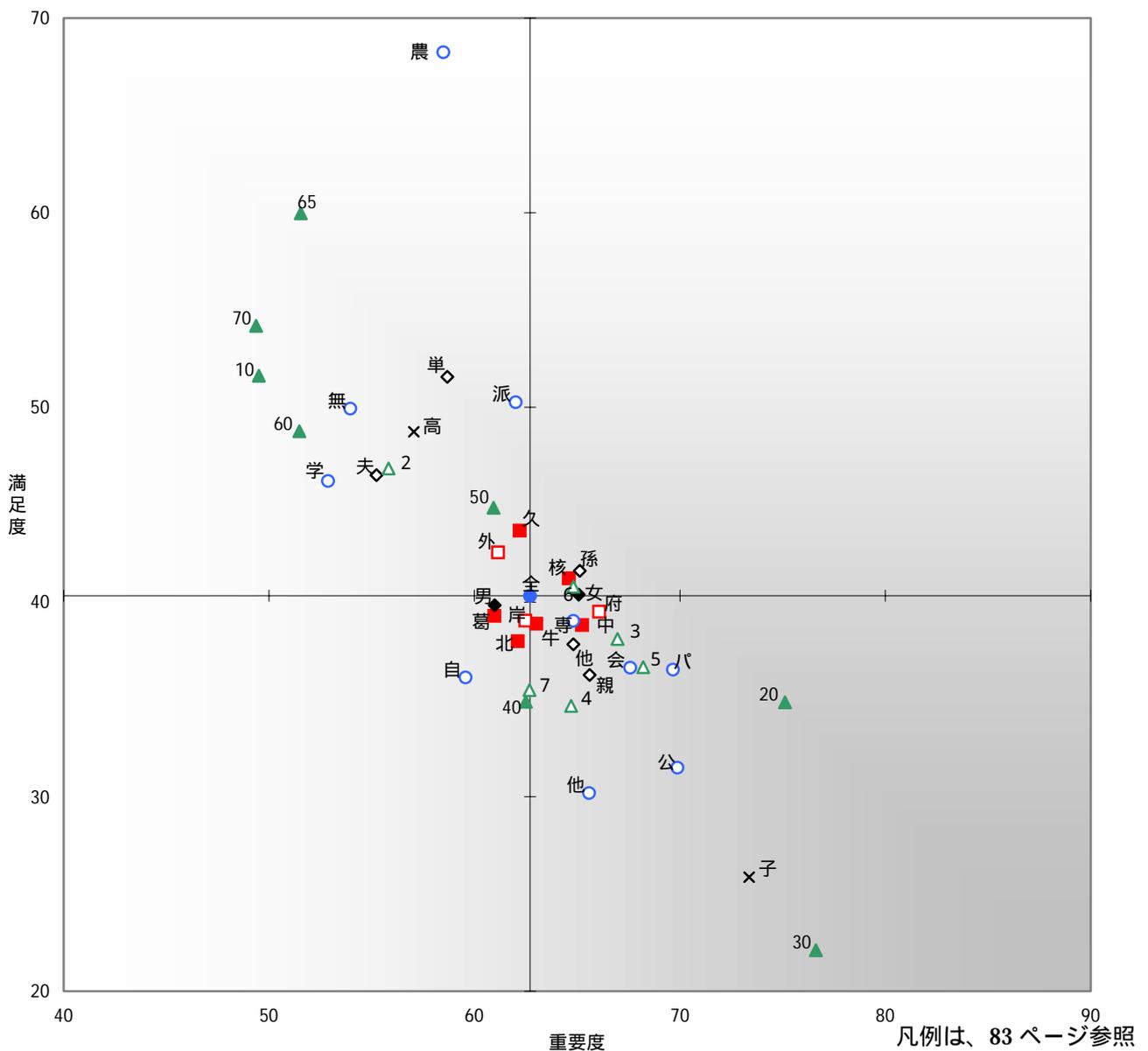
「養育中の子どもがいる」(22.1%)と「65歳以上の高齢者がいる」(23.4%)のどちらも岸和田市全体を上回っています。

(2) 重要度・満足度の属性分析

岸和田市全体の結果を交点としたグラフに各属性をプロットした形式で示して、各属性の分布した領域から特に働きかけを行う必要がある属性の傾向を読み取ることとします。

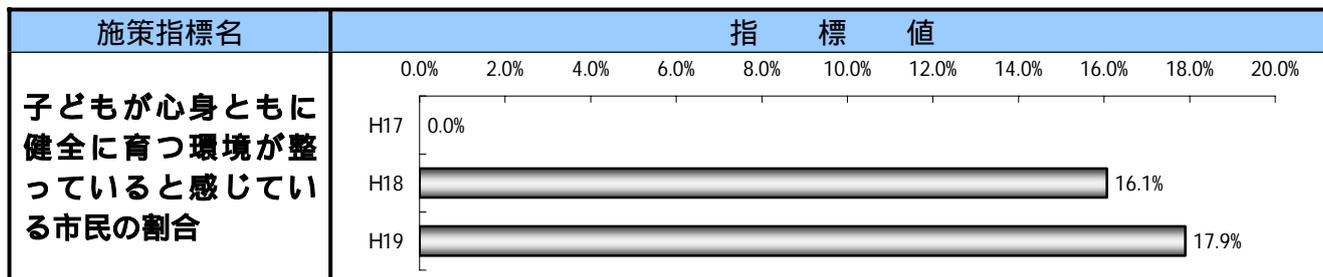
『重要度』が岸和田市全体よりも高く、『満足度』が岸和田市全体よりも低い領域（下図の右下部分の領域）つまり、岸和田市全体よりも「重要だと思っているが、満足していない」傾向にある以下の属性については、特に強い働きかけを行う必要がある対象となります。

- 地域別.....岸和田中部地域、牛滝の谷地域、
- 性別.....(なし)
- 年齢別.....20～29歳、30～39歳
- 職業別.....会社員、公務員、パート・アルバイト、専業主婦(夫)、その他
- 出生地別.....大阪府内(岸和田市を除く)
- 家族構成別.....親子(2世代)、その他
- 世帯人員別.....3人、4人、5人
- 同居別.....養育中の子どもがいる

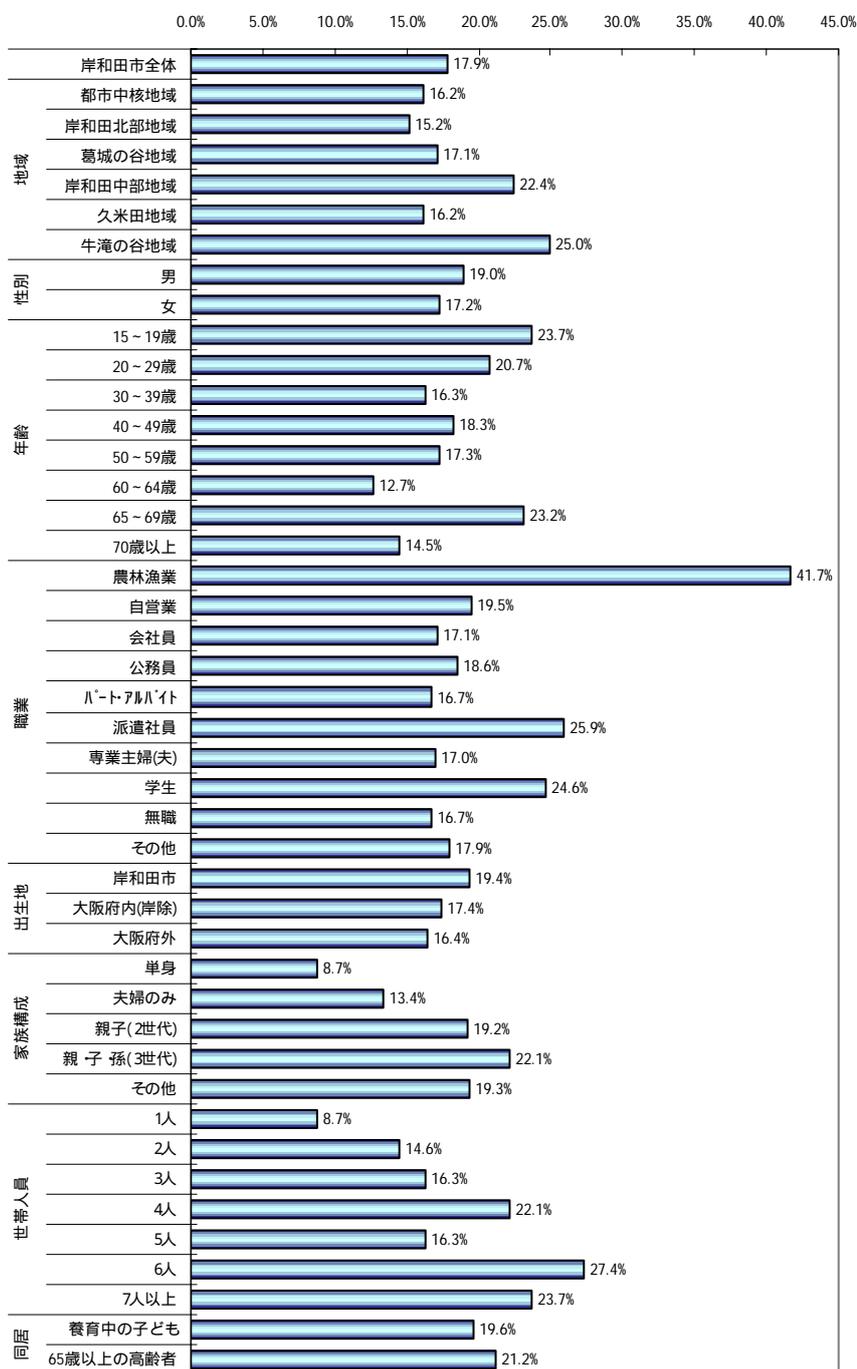


5 【重点施策5】子どもが健全に育つまちをつくる

(1) 施策指標



平成 17 年度は未実施



地域別

「牛滝の谷地域」(25.0%)が最も高い一方、「岸和田北部地域」(15.2%)で最も低くなっています。

性別

「男性」(19.0%)が「女性」(17.2%)を1.8ポイント上回っています。

年齢別

「15～19歳」(23.7%)で最も高く、以下「65～69歳」(23.2%)、「20～29歳」(20.7%)、「40～49歳」(18.3%)などとなっています。

職業別

「農林漁業」(41.7%)が特に高く、以下、「派遣社員」(25.9%)、「学生」(24.6%)などが続いており、これら以外の職業については、ほぼ岸和田市全体と同じ傾向にあります。

出生地別

「岸和田市」(19.4%)、「大阪府内(岸和田市を除く)」(17.4%)、「大阪府外」(16.4%)の順となっています。

家族構成と世帯人員別

家族構成別にみると、「親・子・孫(3世代)」(22.1%)が最も高く、「単身」(8.7%)が最も低くなっており、多世代世帯ほど高い傾向にあります。

また、世帯人員別でも、「6人」(27.4%)、「7人以上」(23.7%)などで高く、大家族ほど高い傾向にあります。

同居別

「養育中の子どもがいる」(19.6%)と「65歳以上の高齢者がいる」(21.2%)のどちらも岸和田市全体を上回っています。

(2) 重要度・満足度の属性分析

岸和田市全体の結果を交点としたグラフに各属性をプロットした形式で示して、各属性の分布した領域から特に働きかけを行う必要がある属性の傾向を読み取ることとします。

『重要度』が岸和田市全体よりも高く、『満足度』が岸和田市全体よりも低い領域（下図の右下部分の領域）つまり、岸和田市全体よりも「重要だと思っているが、満足していない」傾向にある以下の属性については、特に強い働きかけを行う必要がある対象となります。

- 地域別.....都市中核地域、岸和田北部地域、岸和田中部地域
- 性別.....女性
- 年齢別.....20～29歳、30～39歳、40～49歳
- 職業別.....会社員、公務員、専業主婦(夫)、その他
- 出生地別.....大阪府内(岸和田市を除く)
- 家族構成別.....親子(2世代)
- 世帯人員別.....4人、5人
- 同居別.....養育中の子どもがいる

